

5、埼玉県17年度						
地域 契約年度	対象	会員	活動内容	治療報酬	訪問指導、講習会	予算
所沢市 H4年度 (H17 未確認)	27 内 中学 1 (小学校 数 33)	12 名 中 10 名	家畜衛生と全校の飼育家禽のワクチン接種、指導、 している 教育委員会とは治療契約している 会は基準料金を定めて一括請求、 なお診療カルテを会で審査し、過剰診療を除く	基準料金を決 めて会で一括 請求、各獣医 師に支払う	鳥ウチン 年3回接種時に 指導	H15 16.5万円 H14実績 約19万円
さいたま 市 旧大宮市 H10年度 委託契約 はH14年 から	104 幼・小 中・養 護学 校	60名 中 52名	「学校飼育動物飼育相談委託事業」の契約 1、訪問指導：年1回(1月)に訪問指導 2、教師向け講習会： 3、日常の相談受付 4、担当獣医師による治療 与野市、浦和市と大宮市が合併してさいたま市 になった。旧3市の獣医師会はさいたま獣医師 連絡協議会をつくり、市と委託契約を締結した H17年さらに岩槻市が合併	約束手に含 原則無料 但し 避妊去勢は 別料金 無料診療に 42名協力	指導主事と一緒 に全校訪問指導・ 簡単な治療をする 年1回の 訪問指導と 教師向け講習会 を教育委員会と 共催する	H17年 103万 H16年 90万 H15年 86万 円 (1校1万)
川越市 治療契 約 H10年 度 覚書	33校	27	「市立小学校の飼育動物の診療に関する覚書」 ・飼育の担当の先生に対する研修会 ・各学校に対しての巡回訪問指導 (飼育相談、衛生検査、鶏のワクチン接種) ・疾病動物に対する診療 ・動物相談 ・ふれあい教室、講習会実施 同獣医師会管内の他市も行政に働きかけている	基準料金	学区個別指導 教師向け定期講 習会を行う 他、個別に講習の 依頼があり、対応 している	治療実績に より支払わ れる、 訪問指導 2000円/回
蕨市 H11年 度 委嘱獣医 師	7校	両市 で 6	学校獣医師制度、学校獣医師指定申請をして全 員が委嘱された。獣医師は担当学校の教師の 相談に乗るが、年に一回は学校を訪問し児童、 教師などと交流する。学校委嘱医師、薬剤師と 同じ扱い。 H14年度は学校側の理解度を高め両市で毎年教 員向け講習会を行っている	含まず しかし データ取 集中	全校を訪問し飼 育指導をする H、11、12年度 全校を訪問して いる 講習会は毎年行 っている、	謝礼金 35万円 1校当り 5万円
戸田市 H12年度 委嘱獣医 師	11校		蕨市に準ずる。補正予算を組んで、平成12年度 から制度化をされることが決定。	同上	蕨市に順ずる	同上
新座市 H13年 度	対象 18校 (飼育 校11)	担当 6名	H15 1年間を通じて学校に助言・指導する。 また訪問して講話などを行う 獣医師会が窓口になり、担当獣医師を決めてい る H13 年1回の訪問指導のみ H14 希望校を訪問指導	契約外 自由診療	活動内容の通り 年1回の 訪問指導 教師向け講習会 1回など	H16:22万円 1校2万 H14: 16,5万円 1校1,5万 H13年 1校1万円
久喜市 H15年 委託契約	10 小学 4 中学	6名	「久喜市立学校における飼育動物の指導等に関 する契約書 訪問指導：初年度4回(内2回は教育委員会が 同伴 次年度からは状況により最低2回 他に教育委員会が行う教員向け講習会に協力	契約に含む	初年度訪問4回 次年度は状況 を見て決める 講習会は年1回	56万円 4万円/校
志木市 H13年 (契約無)	8校	4名	H13年「小動物飼育アドバイザー制度」を創ったが 実績がないため「学校魅力化予算」(学校が必要と する講師や協力員への報奨金)に統合され、学校 の計画に基づいて実施。計画は前年度末に委員会 と協議の上予算化する。H16年6月現在予算化し た学校は2校のみ H17年度は1校のみ、 獣医師は飼育委員会活動や生活科の授業を支 援する 各小学校からの要請を、代表獣医師が受 けて、調整する。 運用は、各小学校に任せられているが 以下の内容が多い。 ・飼育委員会の子ども達や教師へのアドバイス ・生活科の授業での「動物への接し方」のお話し ・飼育動物の健康診断	健康診断の 結果、治療 が必要とな った場合 は、各学校 予算で対応 獣医師会は 把握してい ない	活動内容の他に 教育委員会が「小 動物の飼育方法」 研修会を実施	教委に「飼育 アドバイザー」への予算 を申請した のは H16年2校 H17年1校 H14年まで 1校3万円の 枠があったが 活用率があ がらず変更